国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター (厚生労働省委託事業)

# メディアセミナーのお知らせ

### 世界で警告される「薬剤耐性(AMR)」の脅威

# 「薬剤耐性(AMR)対策 最新動向 2023」

【日時】2023年9月25日(月) 15:00-17:00 (入室開始14:45) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター バンケットルーム 8C

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)は、昨今問題となってい る薬剤耐性(AMR)の最新情報と今年度の取り組み、調査データを発表するメディア向けセミナー「薬剤耐性(AMR) 対策 最新動向 2023」を開催します。

AMR臨床リファレンスセンターは、薬剤耐性対策や抗菌薬適正使用などを具体的に盛り込んだ「薬剤耐性(AMR) アクションプラン」に基づく取り組みを推進するため、厚生労働省委託事業として2017年4月に設立されました。

今年のセミナーでは、7年目を経過した「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」の現在の取り組み状況、次への 課題を、さらに日本における抗菌薬の使用状況やアクションプランの更新、今後の展望、感染対策関連サーベイランス、 市民意識調査の結果など、さまざまな視点からお話します。

感染症の流行は社会に大きな影響を及ぼします。国連は2050年までに薬剤耐性により、年に1000万人が死亡し、 がんの死亡者数を超え、金融危機に匹敵するダメージを受けるおそれがあると警告\*しており、日本でも年間およそ 8000人が薬剤耐性菌によって亡くなっていると推計されています。今後予想される薬剤耐性によるパンデミック に備えることも重要な課題です。

日本では、毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に設定し普及啓発活動を推進しています。つきましては、 ご多忙とは存じますが、報道関係のみなさまのご参加を賜りますようお願い申しあげます。

e) とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです \* https://news.un.org/en/story/2019/04/1037471 endations to reduce 'staggering number' of future deaths

#### プログラム

15	5:00-1	5.03	開会・	登壇者紹介
	J. UU-J	LJ.UJ	771 75	37,70 C NU / I

薬剤耐性(AMR)対策 最近の動向 15:03-15:31

●薬剤疫学室からの報告

大曲 貴夫 AMR臨床リファレンスセンター センター長

おおまがり のりお

薬剤疫学室 室長

都築 慎也

AMR対策アクションプランの更新と今後の展望

まつなが のぶあき

15:59-16:27 ● 臨床疫学室からの報告 松永 展明 臨床疫学室 室長

AMR対策サーベイランスの現在地

16:27-16:55 ●情報・教育支援室の取り組み

藤友 結実子 情報·教育支援室室長

抗菌薬意識調査2023を公開!

11月「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」啓発キャンペーンについて

質疑応答 16:55-17:00

15:31-15:59

## 必要事項をご記入の上、9月21日(木)17時までにご返信ください。

## 返信先アドレス▶ press@one-inc.co.jp FAX▶ 050-3488-8837

厚生労働省委託事業

メディアセミナーのお知らせ

# 世界で警告される「薬剤耐性」の脅威 「薬剤耐性(AMR)対策 最新動向 2023」

#### 日 時 2023年9月25日 (月) 15:00 場 所 TKP市ケ谷カンファレンスセンター バンケットルーム 8C (入室開始 14:45 終了 17:00)



15:00-15:03 開会・登壇者紹介

15:03-15:31 薬剤耐性(AMR)対策 最近の動向

15:31-15:59 薬剤疫学室からの報告

15:59-16:27 臨床疫学室からの報告

16:27-16:55 情報・教育支援室の取り組み

16:55-17:00 質疑応答

ご出欠		□ご出席	□ご欠席		
貴社名					
貴メディア名					
貴部署名					
ご芳名				他	名
ご連絡先	TEL e-mail		FAX		
ご要望等					

【お問い合わせ】AMRCRC広報事務局(株式会社one内)

担当:友野、永森 TEL:03-6826-6560

携带: 070-3531-4283

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

